



上北だより

令和2年11月2日
練馬区立上石神井北小学校
校長 本橋 教子

「校内研究」

校長 本橋 教子

学校には校内研究推進委員会と言って学校全体で研修を推進していく組織があります。

ちょっと固いお話になりますが、教員の研修については教育基本法の第9条に定められていて、学校はこれを能動的に進めるために、この部署を中心に研究を進めています。私は研究と言われると「難しい」「時間がかかる」などというイメージがありましたものですから、教員になった頃は研究部の一員として仕事をすることを誇らしく、また、重くも感じておりました。

1年間の校内研究の大まかな進め方は、学校の実態から研究のテーマを決めて、仮説を立て、それに沿った研究を進めて授業で検証していきます。実際の授業での結果を記録し、児童の反応などを分析してさらに工夫・改善を重ねていきます。

昨年度まで、本校は道徳科の研究を進め、1月には保護者、地域の皆様のご協力の元、研究発表を大成功に終わることができました。今年度は算数科の研究に取り組んでおります。中でもみつば学級は昨年に引き続き、特別支援学級研究発表校として今月13日に研究発表を行います。

3月からコロナでの休校が始まり、「研究発表はどうするのか。」という声も多方面から頂きました。しかし、不安を抱える3月末、今年度年間講師を引き受けてくださいました元練馬第三小学校校長の荒木正志先生がコロナを押して、ご来校くださり、今年度の研究に大きな道筋をつけてくださいました。これに応え、「研究授業は2学期以降か。」との心配もはねのけて、6月と9月に特別支援学級で研究授業を行い、児童への発問や教材教具の研究を深めました。他の学級でもみつば学級に負けじと、9月から研究授業を実施し、子供たちの考えを大切にしたい授業に向けて努力を重ねています。

今年度の研究発表はコロナ禍での開催となり、限られた公開とさせていただきます。保護者の皆様にはご覧いただくことができず残念ですが、昨年度の研究に引き続き、校内の教員全員で研究内容を共有しながら進めて参りました結果を発表させていただきます。

今後とも学校の取組にご理解ご協力をいただきますよう、よろしくお願いたします。

11月の行事予定

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3 文化の日	4 ☆	5 ◆	6 ☆ S時程	7
8	9 委員会活動 読書旬間(始)	10 ☆ 避難訓練	11 ☆	12 ◆ 5時間授業	13 ☆ 4時間授業 研究発表(み)	14 土曜授業 原爆先生(6) お米の学校(5)
15	16 クラブ活動	17 ☆ 4時間授業 就学時健診	18 ☆ ねりまお話の会 (2)	19 ◆ 心臓検診(1) ねりまお話の会 (1・み)	20 ☆ S時程 5時間授業 読書旬間(終)	21
22	23 勤労感謝の日	24 ☆	25 ☆ 4時間授業 研究会のため	26 ◆	27 ☆	28
29	30					

【保護者の皆様の相談（密田スクールカウンセラー）について】

「予約制」 相談員やスクールカウンセラーの勤務日に、相談室直通電話に連絡して直接予約をすることができます（相談室直通電話：080-2012-2131）学校へ電話（03-3920-1011）して、副校長か担任に相談していただくことも可能です。

☆：こころのふれあい相談員の内田先生の勤務日（8：30～16：30）

◆：スクールカウンセラーの密田先生の勤務日（8：30～17：00）

学校納付金について

学校納付金の未納が続きますと、教育活動に支障が生じます。必ず期日（口座振替の前日）までに、指定口座への入金（納入）をお願いします。なお、未納の状況に応じて必要な法的措置をとる場合があります。

11月の生活目標

～言葉づかいや態度をよりよくしよう～

生活指導委員会 小池 なつき

あいさつや返事をする、正しい言葉づかいで話すことは、コミュニケーションの基本です。大人も子供も関係なく、思いやりをもって生活をする上で、欠かすことのできない習慣です。

近年、情報機器の発達によって、新しい言葉が絶えず増え続けています。言葉との出会いは多くても、意識的に、それをどのように使うのかを考えることが少なければ、正しい言葉づかいはなかなか身に付きません。また、語彙の少ない子供たちにとってより良い言葉を選んで話すということは、難しいことです。まずは、大人が言葉に敏感になり、言葉と向き合わせる機会を増やすことが大切です。授業中、休み時間、給食や掃除の時など、学校にあふれる子供たちの様々な言葉に耳を傾け、声をかけてまいります。

たてわり班活動

たてわり班活動担当 竹田 桃子

「たてわり班」とは、1年～6年までの異年齢の子供たちが楽しく協力しながら活動することで、学校生活を充実させることがねらいです。今年度はペア学年（1年と6年、2年と4年、3年と5年）の中でもさらにペアを作り、「相手の名前を覚える」ことを目標としています。活動が終わり、教室に戻ってくると、「今日は名前呼んでたくさんお話できたよ！」など元気に報告する人がたくさんいます。また、年間7回という少ない回数や遊ぶ内容の制限などがありますが、リーダーとして6年生が「今年度ならでは」や「ペアで楽しめる」よう工夫を凝らした遊びを考えています。その様子に下学年があこがれ、「自分もこうなりたい」と希望をもてる大切な教育活動となるよう指導してまいります。

みつば研究発表

みつば学級主任 湯之上 智

11月13日（金）に、練馬区教育委員会特別支援学級研究発表校として、研究発表会があります。研究主題は、「数学的な見方・考え方を育む指導」～個に応じた指導の工夫～です。

これまでに、以下の3つの工夫をしてきました。①ステップシートとオリジナルの「みつばシート」を使った児童の実態把握。②数学的な見方・考え方を育むための実態に応じた教材・教具の活用。③基礎的・基本的な知識・技能の定着を図るため、毎時間ゲーム等の活動を繰り返すなどの常時的な活動。

この研究を通し、「算数の授業を楽しむことができる児童」や「学んだことを日常生活に生かすことができる児童」を育むことを目指していきたいと考えています。

上北の子 ～3年生～

学年主任 川崎 祥子

サンシャイン3年生

学年だよりの題名の「サンシャイン」には、一人一人の個性がきらきら輝く一年になりますようにという思いが込められています。その名の通り、3年生から新しく始まった理科や社会、専科教室での授業、外国語、習字、などにも目をきらきらさせながら前向きに取り組んでいます。また休み時間は学級の枠を超えて元気よく遊ぶ様子が見られています。

休校明けからは、ハウセンカやヒマワリ、かいこ、クワガタなど植物や生き物もたくさん育ててきました。現在は練馬大根を大切に育てています。命の大切さに気付くとともに、さらに友達を大切にしようという気持ちが育てられるようにしていきたいと思えます。

